

まときとニュース VOL. 111

環境に優しい定置網漁



早朝の網おこし作業

氷見市では定置網漁が盛んで、大小合わせて45力続あります。定置網の”待ちの漁法”は、魚群を根こそぎ漁獲することなく、また、網が魚礁の役目を果たすなど、自然と共生する資源管理型漁法といわれます。美しい海と豊かな恵みを未来に伝える漁法といえます。



INDEX

農政情報

- 日本産を世界へ売り込もう
- 平成17年産水稻の8月15日現在における作柄概況(富山)
- 平成16年食品ロス統計調査結果の概要(北陸)
- 食事バランスガイド 応援メッセージ
- キッズページ アクセスしてね
- 食事バランスガイドブロック説明会
..... 2~3

とやま現地情報

- ・ゲンゲから栄養補助食品を開発
- ・魚は定置網の中でどう動く? 4

魚市場に水揚げされるサワラ

ゲンゲから栄養補助食品を開発



日本初！深層水域に住む神秘の魚ゲンゲのサプリ

ゲンゲは、富山県富山湾の水深300m以下の低温で清浄・栄養分に富んだ深海水位層に住んでいます。体を覆うぬるぬるとしたゼラチン質の皮膜が特徴で、柔らかな食感と自身の淡泊な味わいから富山湾の珍味といわれていますが、鮮度落ちが早いことなどから低利用魚となっていました。ゲンゲのゼラチン質にコラーゲンが含まれていることがわかり、富山県漁業協同組合連合会と富山県立大学は、ゲンゲ全体をフリーズドライし粉末化して、約10倍に濃縮することに成功しました。粉末には、コラーゲンのほか、ビタミンや鉄分、DHAなどが豊富に含まれていることが確認されました。このゲンゲの濃縮粉末に肌の老化防止などに役立つとされるコエンザイムQ10を加えて、東洋カプセル(株)で飲みやすいカプセルにして通信販売をしています。

富山県漁業協同組合連合会ホームページはこちら。
<http://www.jf-net.ne.jp/tygyoren/>

Human Network

魚は定置網の中でどう動く？

近畿大学農学部水産学科と氷見市、宇波浦漁業組合は、魚に超音波発信器を埋め込み、定置網内での行動を調べる実験を行いました。実験を担当した山根 猛 近畿大学教授にお伺いしました。



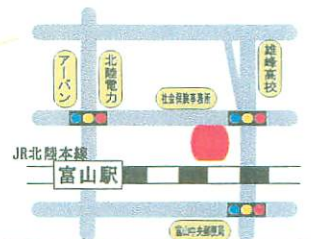
この実験にはクロダイ2匹とキジハタ1匹を用いました。放流した場所は、定置網の入り口付近の「運動場」、次の「身網」、一番奥の「二重落とし」です。また、網にも潮流による動きを調べるセンサーを取り付けました。このような定置網内の魚を調べる実験は初めての試みです。実験の結果は網の奥の方に放流した2匹が入り口から逃げ、運動場のクロダイは残りました。満潮前後の2~3時間で潮が動き、網の底が約5メートル持ち上がりました。網の吹かれと魚の逃避には何らかの関係があるように思われます。一番奥にある網から魚が逃げ出したことは予想外でした。今回は3匹と個体数が少なかったため、魚が逃げていく結果になりましたが、魚の行動の一端がわかりました。今後個体数を増やすなり考えていきたいと思えます。また、結果を詳しく解析していきたいと思えます。

氷見は定置網漁が盛んなところですが、魚に計測器を埋め込む技術があっても、実験をやらせて頂く、場所・海・フィールドが必要です。氷見市や漁協の方々のご協力で早く実験をさせていただきました。ありがとうございました。

近畿大学農学部水産学科のホームページもご覧ください。
http://nara-kindai.univ.jp/top_ind/00sitemap.html

北陸農政局 富山統計・情報センター

〒930-0856 富山市牛島新町11番7号(富山合同庁舎4F)
TEL 076(441)0345 FAX076(441)7605
ホームページ <http://www.toyama.info.maff.go.jp/>



出張講座のご案内

北陸農政局では、食と農林水産業の関わりを知ってもらうための講座を実施しています。ご要望に応じますのでご連絡ください。

魚を切って体内に超音波発信器を埋め込みます

